



令和6年5月

「授業づくり まずここから」

令和6年度がスタートし1か月が過ぎました。日々の授業を充実させることが信頼関係を深める最も重要な手立てだと考えます。昨年度各校の若手の先生方と話し合った授業改善のポイントを紹介します。授業づくりを再考されるときヒントになれば幸いです。本年度も先生方の思いに寄り添い、支援していきたいと考えています。

1 実態を把握することから始めましょう

- ・プレテストで、既習事項の定着度を確認しましょう。
- ・休み時間に遊んだり話を聞いたりすることで信頼関係を作りましょう。
子ども達との関係が深まれば指示が通りやすくなります。
(「1週間で全員と遊ぶ」という目標を立て、1年間取り組まれた先生がおられました。)



2 教材の分析をしましょう

- ・目標の分析はもちろん、子どもたちがどんな姿になればいいのか具体的な評価規準を設定しその達成を目指しましょう。何で評価するかも明らかにしておきましょう。
- ・系統性を把握し、既習事項を想起させましょう。
- ・単元全体を通してどんな力をつけるか計画を立てましょう。

例 詩を読む「夕日がせなかをおしてくる」(4年国語)

・単元の目標

◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。

◎文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。

◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。

・本時の目標 詩を読んで思ったことや感じたことを発表する。

・めあて 夕日がせなかをおしてくるを読んで、思ったことや感じたことを発表しよう。

・評価規準 A:一人一人の感じ方の違いに気づき、自分の感想を深めている。
B:詩を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをもっている。
(音読の工夫を書きこんだワークシートで評価する)

3 授業の展開は柔軟に考えましょう

- ・「めあて→個人思考→対話→交流→まとめ→振り返り」など授業のパターンを身に付けましょう。しかし、子どもたちの状況によって柔軟に対応しましょう。
- ・子どもたちの反応を予想し、できれば複数の展開を用意しましょう。

